



～ミタクリ通信～ 2017年7月

2017年7月1日
 発行所：医療法人三谷ファミリークリニック
 発行人 / 巽欣子・三谷和男
 〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁354-1
 電話 072-260-1601 FAX 072-260-1603

7月(文月)を迎え、梅雨が本格化しています。台風が通過しましたが、一層不快指数は上がっていますね。一方、夏祭りが各地で始まりました。さあ、楽しいことを考えて、笑顔で過ごしましょう。



七月といえば七夕です。商店街でも準備に余念がありません。牽牛(けんぎゅう・わし座のアルタイル)・織女(しょくじょ・こと座のベガ)の中国の古い伝説と日本古来の農耕儀礼が結びついた祭祀で、6日の夜に短冊をつけた笹竹を軒下に飾り、7日の朝に川に流します(今は流せないところが多いです)。あと忘れてはならないのがそうめんです。後醍醐天皇の時代の宮中の七夕の儀式で、「索餅(さくべい=熱病を流行らせる霊鬼神が子供時代の好物で祟りを沈める)」を供えたという記述があります。

【ニュース】

1. 診療日の変更をお知らせします。

7月の休診の予定はありません。8月は・・・

8月15日(火)～18日(金) 三谷 休診

同期間は以下ようになります。よろしくお願ひします。

	14(月)	15(火)	16(水)	17(木)	18(金)	19(土)
午前	巽	巽	巽	巽	巽	三谷
午後	巽		巽	訪診	巽	
夜診		休診	巽		巽	

2. 骨そしょう症の検査の日程

7月は25日、9月は19日(いずれも火曜日午前)です。第3火曜日のことが多いのですが、7月は第4です。前回の検査から4ヶ月間が空いていれば再度受ける事が出来ますよ。

3. 糖尿病の足ケア(フットケア) 今月も月間です。

この時期は、糖尿病の方にとってミズムシの出やすい季節です。恒例のフットケア、ストッキングは脱いで、素足になりやすい格好でお越しください。

【ミタクリ歴史館 山本宣治のこと】



先日の国会で、特定秘密保護法(いわゆる共謀罪法案)が通過しました。内容は「組織的犯罪集団が重大な犯罪を計画し、資金の調達や犯行現場の下見などといった準備行為を行った場合に処罰する」ですが、野党は「一般人が対象になり得る」「警察などの捜査権限が拡大し、公権力による監視が強まる」と反対しています(朝日新聞より)。この法案、拡大解釈は自由ですから国家権力の機能強化のための法案であることは間違いありません。私は、高校一年の時に中之島の公会堂で上映され、友人と行った「山本宣治」のことを思い出します。山本宣治は、戦前の労働農民党の議員で治安維持法に反対、その意見を国会で述べようとするも強行採決により機会を得られず、その夜暗殺されました。もともとは生物学者であり、多産と貧困の解消に力を注いだアメリカの女性社会運動家のサンガー(Margaret Sanger)夫人の通訳を務め、産児制限に力を注いだ人物です。アマリリスの曲を聴き「私も夜になると皆さんと同じ事をしていますよ。」とにこっと笑った宣治の表情が忘れられません。時代が違うという意見もありますが、政府にとって都合の悪いことをまっすぐに述べることを「テロ」とみなせるわけです。捕まった犯人は「共産主義者を殺すのだから、もちろん無罪で、十万円もらえる」と誰かに吹き込まれたそうですが、真相は現在でも明らかにされていません。今回の法案成立もある意味「強行採決」でしたから、何でも政府の思い通りの時代にむかうのではと危惧しています。

【欣子先生の診察便り】



ムシムシした日が続きます。この時期になると血糖値の上りはアイスクリームや飲料水が多いかも。熱中症予防だからとポカリスエットを 500 ミリリットル飲みますと、角砂糖 8 個分入っているのですよ！毎年秋には飲料水の飲みすぎで糖尿病発症・・・という方が必ずいます。小中学生でもあり得ますので夏は飲みすぎにはくれぐれも注意が必要です。

さて、今年堺市立総合医療センターの 2 年目の研修医の先生が 3 人、ミタクリに 2 週間、診療所研修に来られることになりました。一人目は藤坂先生で 7 月 3 日から 2 週間です。クリニックやちぐさのもり研修、そして訪問診療同行や訪問看護ステーションなど患者さんのお家や地域の介護福祉の現場・三谷先生同行で学校医や産業医体験も盛り込んで、病院ではわかりづらい地域の暮らしを見てもらえたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

私も医者になって 20 年を過ぎると研修医の頃の記憶も随分薄いのですが、今と違ってまだのどかな時代でした。糖尿病で入院しても、ゆっくりと全身の精査をして、胃がんや狭心症が見つかってついでに治療、入院期間 1 か月くらいはざらでした。そして退院時には、どんな生活しているのか患者さんのお家を見に行くこともでき、自分のした医療内容が退院後の患者さんの暮らしとマッチしていたのか問題がなかったのか振り返る時間がありました。しかし時を経て、随分病院のしくみが変わってきたのです。治療が必要になった時に入院する急性期病院（みなさんの多くが急病になったときに入院する病院です）、それ以外に積極的な治療はほとんどしないけど長期間入院させてくれる療養型病院、脳梗塞後など期間をきめて積極的にリハビリをおこなう回復期リハ病床などなど、病院（病棟）自体が目的も入院期間も費用も違ういくつかの種類に分けられています。今は急性期病院はDPC（包括医療費支払い）制度というものがあり、Aという病気で入院したなら〇〇日間で退院させないと病院の収入が減るというシステムになっていて、病院の先生はベッドを回転させることに必死になっている現状があるのです。よく皆さんが文句を言う「お父ちゃん入院してんけど、あつという間に退院するか次の病院探してくださいと追い出しよるねん」というあれです。急性期病院は病気を治療するところ。ましてや積極的な治療はいらないけど最期亡くなるまでみてほしい、なんてことはできなくなっています。また、「療養型病院に転院してから看護師さんもなかなか来てくれへん」と言われますが、看護師さんの数も少なく定められていて、急性期病院ほどの手はかけられないのです。病院が勝手に決めているのではなく国が決めたしくみです。こういった機会に病院の若い研修医が来てくれて地域のニーズや暮らしの実態を知り、私たちが病院の仕組みを知ることで相互理解ができれば、お互いのトラブルやストレスが減るなあと感じています。今年は 3 人の研修医の先生が来られますので、患者の立場からいろいろと優しく（笑）教えてあげてくださいね。

【外来担当医一覧 2017年7月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	異	三谷	異/三谷	異	異/三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	異(予約)	異(訪問診療)	異(予約)	異(訪問診療)	異(予約) 三谷(訪問診療)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	